

科目名	簿記			ナンバリング	BUS143	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2単位
代表教員	山口憲二	担当教員					

授業の概要	<p>本科目の目的は、簿記一巡の手続きに関する学修を通じて、企業の会計情報に関する理解を深め、自らのキャリアデザインへの刺激を受けることである。</p> <p>授業では日本商工会議所主催「簿記検定3級」レベルの知識と学修方法について指導する。ただし、簿記の修得には「鉛筆と電卓を使って多くの問題を解く」という地道な学修(予習と復習)が必須である。授業は学修のペースメーカーでしかないので注意してほしい。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日商簿記検定3級に合格する(検定試験は2月下旬)</li> <li>2. 簿記の学修方法をマスターし、より高度な学修への動機付けを得る</li> <li>3. 会計情報への興味関心を持つ</li> </ol>
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	<p>簿記初学者を対象とする授業である。</p> <p>毎回の授業で指示した練習問題をやり遂げること。このことを無くして、検定試験合格は不可能です。</p>
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】
	○ 1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。
	○ 2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。
	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。
	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。
	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
日商簿記検定3級の合格(70点)に必要な知識修得(検定試験は2月下旬)	日商簿記検定3級の高得点合格(検定試験は2月下旬) 簿記および会計に関心を持ち、発展的な学修を続けること。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○					90%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	毎時の演習課題に対する解説を口頭で行う。
---------------	----------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	B/SとP/Lの構造	B/Sの構造とその意義を理解する。 P/Lの構造とその意義を理解する。	
	第2回	取引と勘定記入、仕訳と転記	簿記上の取引と勘定への記入について、ルールを理解する。 仕訳と転記のルールを理解する。	
	第3回	仕訳帳と総勘定元帳、試算表の作成	仕訳と転記について、それぞれ帳簿への記入のし方を理解する。 試算表の作成方法とその意義について理解する。	
	第4回	精算表の作成、決算と財務諸表の作成	精算表による決算手順を理解する。 本決算手続きと財務諸表の作成方法を理解する。	
	第5回	現金・預金、小口現金	現金・預金、小口現金についての仕訳と勘定記入を理解する。	
	第6回	3分法による商品売買の処理方法	3分法による商品売買の処理方法を学び、売上原価計算の仕組みを理解する。	
	第7回	仕入帳・売上帳、商品有高帳	仕入・売上勘定の補助簿の記帳方法を修得する。 商品有高帳の記帳方法と払い出し単価決定の意義を理解する。	
	第8回	売掛金・買掛金、その他の債権・債務	売掛金・買掛金勘定とその補助簿への記帳方法を理解する。 その他の債権・債務について、仕訳を理解する。	
	第9回	有価証券、手形	有価証券及び手形に関する仕訳を理解する。	
	第10回	貸倒損失と貸倒引当金、固定資産と減価償却	貸倒損失と貸倒引当金、固定資産と減価償却に関する仕訳を修得し、期間損益計算の意義を理解する。	
	第11回	費用・収益の繰延べと見越し	費用・収益の繰延べと見越しに関する仕訳を修得し、期間損益計算の意義を理解する。	
	第12回	資本金・引出金・税金、試算表	資本金・引出金・税金に関する仕訳を修得し、試算表作成方法を理解する。	
	第13回	精算表の作成、決算と財務諸表の作成	6桁精算表の作成方法を修得する。 本決算と財務諸表の作成方法を理解する。	
	第14回	伝票	伝票の記入とその集計方法を理解する。	
	第15回	まとめと小テスト		
	試験			
授業の進め方	講義、問題演習、質疑応答による。			
授業外学習の指示	毎時の復習のため、指示した問題演習を行うこと。  (授業外学習時間: 毎週 120 分)			

教科書	『段階式 日商簿記ワークブック 3級商業簿記〔6訂版〕』税務経理協会,定価1,000円(税別),ISBN-10: 4419070137
参考書	
参考URLなど	商工会議所の検定試験情報 <a href="https://www.kentei.ne.jp/">https://www.kentei.ne.jp/</a>
その他	